# 地域協育ネット構築に向けて

~4校による学校支援地域本部事業の取組~ 【山陽小野田市 高千帆中学校区】

## 地域の概要

高千帆中学校区は、山陽小野田市の中央部に位置し、 人口は約2万人で、市の人口の約3割を占めています。 小野田駅や多くの官公庁舎、住宅地が広がる地域です。 「高千帆」の名前の由来は「高泊村・高畑村」の『高』、 「千崎村」の『千』、「有帆村」の『帆』からなって います。校区の中心部は「高泊開作」で、江戸時代初

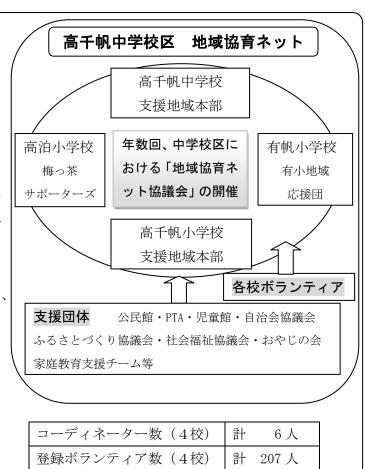
人口		19,950 人
世帯数		8,581 世帯
	高千帆中学校	524 人
対象校及び	有帆小学校	175 人
児童生徒数	高泊小学校	257 人
	高千帆小学校	605 人

期に有帆川河口の高泊湾を埋め立て、約400ヘクタールを開いた干拓地です。

#### 組織の内容

高千帆中学校区では、平成20年度から、 有帆小学校支援地域本部(有小地域応援 団)を、公民館を事務局として立ち上げ、 平成21年度から、高泊小学校支援地域本 部(梅っ茶サポーターズ)を、地域教育協 議会を運営母体として立ち上げました。そ して平成24年度から、市内6中学校区にお ける地域協育ネットを構築するために、市 内全ての小・中学校で学校支援地域本部を 立ち上げた際に、高千帆小学校及び高千帆 中学校も取組を始めました。

各地域教育協議会は、学校関係者をはじめ、 ふるさとづくり協議会や自治会協議会、地 区社会福祉協議会等の地域団体関係者、公 民館、PTA等をメンバーとして構成してい ます。現在、コーディネーターは有帆小学校 2名、高泊小学校2名、高千帆小学校1名、 高千帆中学校1名の計6名で、各校との連絡 調整を行っています。



## 特色・重点的な取組

有帆小学校では、公民館活動との連携が更に進んでいます。公民館で活動する地域の方を講師として招き、運動会でのダンスや書写の授業で指導をしていただきました。高泊小学校では、環境整備活動が頻繁に行われています。今年は学校のそばの竹林を伐採し、竹炭を作り肥料としてまきました。高千帆小学校では、活動の方針等を決める地域教育協議会のスリム化を行いました。これまでの組織の良さを生かしつつ、今後更なる活動の活性化をめざします。高千帆中学校では、今年、小学校からのボランティアの協力を得て合同の草刈を行うなど、学校の枠を越えた活動が始まりつつあります。

# 主な活動の紹介



持久走見守り(有帆小)



稲刈り(有帆小)



見守り隊対面式(有帆小)



救急救命研修 (有帆小)



竹林の伐採(高泊小)



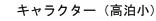
月1回協議(高泊小)



梅もぎ(高泊小)



梅っ茶くん 梅茶っこちゃん





踊りの指導(高千帆小)



緑のカーテン作り(高千帆小)



芋の苗植え(高千帆小)



学習支援 (高千帆中)



部活動支援(高千帆中)

有帆小学校、高泊小学校は、創立 60 周年の節目の年でした。運営面でボランティアの皆さんから大きな支援をいただき、当日は盛大な式典となりました。高千帆小学校では、地域の団体・組織が学校支援活動を分担して活動に取り組んでいます。役割がはっきりしているので「人が変わっても活動は続く」というメリットがあります。高千帆中学校では、部活動指導の支援の成果としてバスケットボール部が県選手権大会で優勝し、関係者一同で喜びを分かち合いました。

#### 成果と課題

高千帆中学校区地域協育ネット協議会として中学校区の関係者(学校地域担当、コーディネーター、公民館長)が一堂に会し、活動報告や情報交換、今後の方向性についての協議を行いました。公民館活動との連携や中学校区における活動について話し合う中、子どもたちが地域に出て活動し、認められることのメリットや「学校→地域」の流れを作っていくことなどについて確認しました。

学校とコーディネーターの連携の在り方、ボランティアの人材育 成等が今後の課題です。



小・中学校ボランティア による環境整備活動

## 今後の取組

学習支援におけるボランティアの参加を更に進めていきたいと考えています。そのため、学習内容に合わせた支援活動計画を立てる等、見通しをもった取組をしていきます。

中学校区の情報交換やボランティアの共有を行い、活動の活性化につなげていくためにも学校関係者やコーディネーターが情報共有するための仕組みづくりと場づくりが必要です。